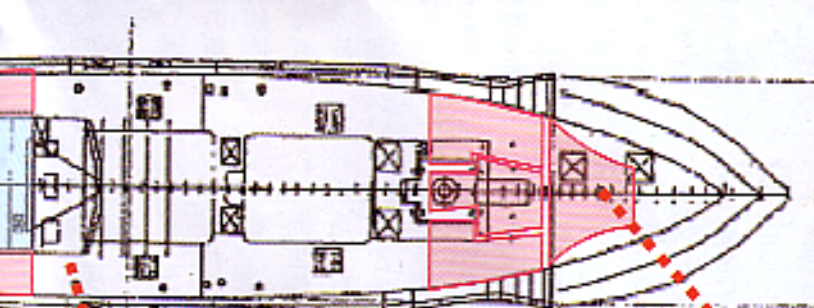
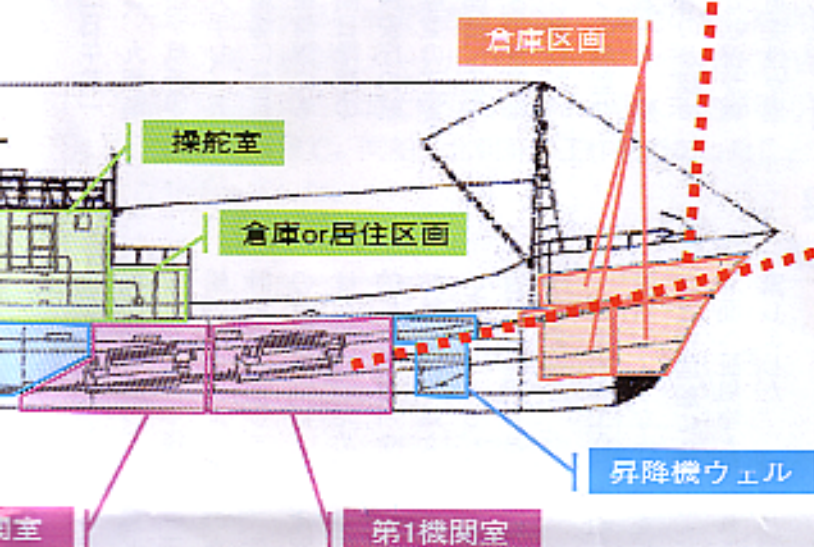
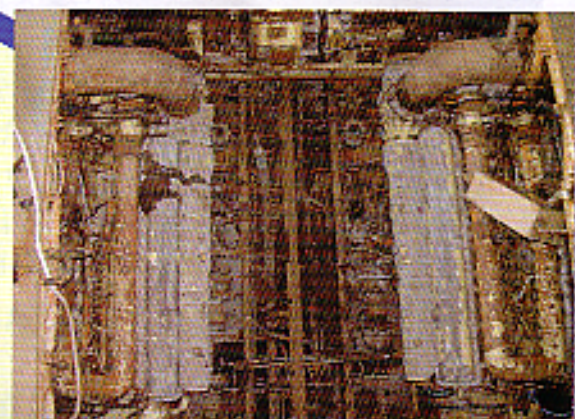


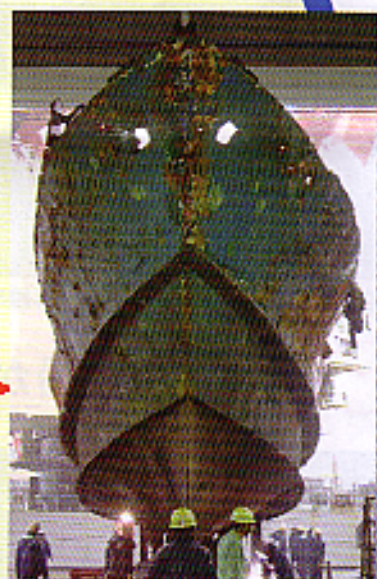
船首船名表示「長漁3705」



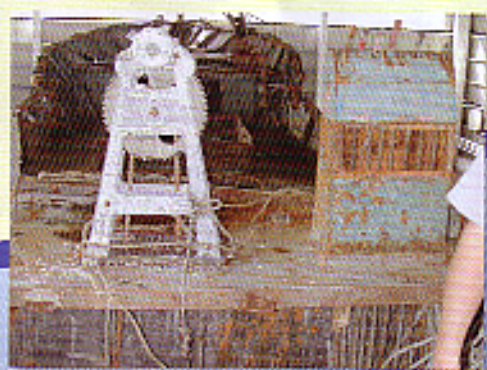
仮設燃料タンク バラストタンク



主機関：ロシア製高速ディーゼルエンジン 4基



高速航行に適したV字型の船型であり、一般の漁船が改造されたものではなく、特殊な用途、任務のために建造されたもの



操舵室内（操舵装置などが設置）



82ミリ無反動砲の同定台（漁網巻き上げ機を偽装）

工作船(母船)の状況

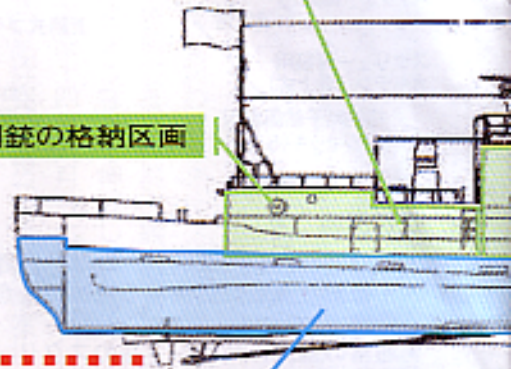
工作船の要目

船名：長漁 3705
 全長：29.68メートル
 型幅：4.66メートル
 型深：2.30メートル
 総トン数：44トン
 出力：連続最大出力で約1100馬力×4＝約4400馬力
 ※一般的な漁船の約10倍の馬力
 速力：約33ノット(61km/h程度(連続最大出力時))
 航続距離：1200海里(速力33ノット時)
 3000海里(速力7ノット(追跡時の速度)時)



推進器(三翼固定ピッチプロペラ) 4基
4基のエンジンと長いシャフトで直結された特殊構造

14.5m対空機関銃の格納区画

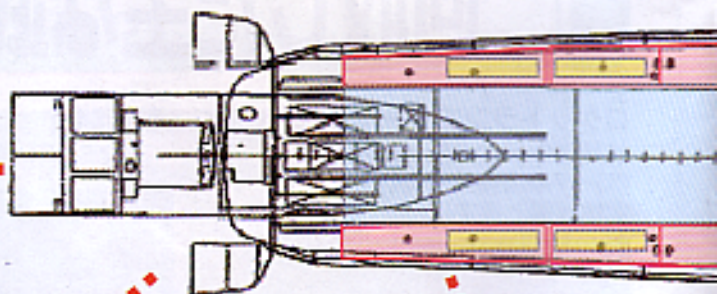


子舟格納区画

第2機



小型船の搭載状況
観音扉は、エアシリンダー開閉式



燃料タンク



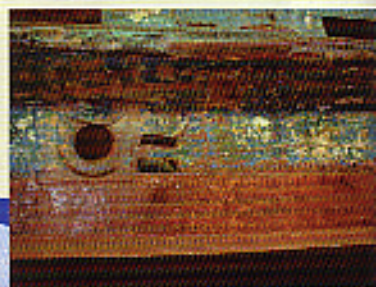
船籍港を「宮崎」と偽装するための、「宮」と書かれたはめ込み式の板



救命浮環



観音扉には、中国の船籍港を示す「石浦」という文字があり、中国漁船に偽装していましたが、日本漁船にも容易に偽装できる構造になっていました。



排気口(銅製フタ付き)